

と、マンツーマンで指と、マンツーマンで指 る。 会を同校で開いてい 導していた。 年から毎年、模擬面接 の抱負などをアピー した。面接官役は「も し、志望動機や入社後 同クラブは2006

さんは「食材や寄付と いった形だけではな く、かけがえのない体 験型のプレゼントもあ りがたい」と感謝した。 (中里圭秀)



自然満喫 豊かな体験を提供し ようと、高崎東ライオ ンズクラブが毎年実 施。子どもたちは水を

地域猫活動を支援

りイベントが、高崎市 箕郷町の榛名高原つり 堀センターで開かれ た。親子連れやスタッ フら33人が、自然を感 じながら体験活動を楽 しんだ。

祭 返った。

など多彩な催

200人の

かれた。上州

久留馬の里

奏や盆踊り、

が、高崎市の(実行委員会

た色とりどり

のグルメブー

焼きまん

よる型抜きコ

久留馬地区

欧演奏や踊 りにぎわう

絆の強さを感じた」と振り かいご協力により開催でき た。みんなが笑顔になれる る。新井健司実行委員長は 一日となり、改めて地域の 「今年も地域の皆さんの温

00人が参加した。 市民ら約1 根川河川敷で行われ、市民ら約1 動をするワー アップデー (9月20日) 世界各地で一斉に清掃活 ルドクリー

環境保護活動で 市民回人が清掃

時間にわたって拾い集めた=写に、ペットボトル、缶などを約1 真。45以用ごみ袋で16袋分のごみ

保護について学ぶ企画 身近な自然に親しみながら環境 トヨタソ

体となり、高

留馬小校区の

包まれた一写

ゴ大会が開催 場を彩った。

・運営に携わ

行政評価を協議 本部有識者会議

3年生66人が参加

前橋国際大学長)は、長・大森昭生共愛学園 7年度までの10年間を 役所で開いた。202 本年度第1回会議を市 本部有識者会議」(座 都まえばし創生 に助言する「県 前橋市の施策

し遅れている」2件(同3件増)、「少 とを報告。 について協議した。 1件減)と評価したこ 業51件について「順調」 年度に実施した重点事 で構成する。市側は24 農業など多分野の14 同会議は教育、経済、 (前年度比2件

総合計画」の行政評価 ことを報告した。 ビューを実施してい 定に向けて市民イン 市側は他に「新

総合ビルで開かれた。同会会員や栄養士会主催)が、前橋市の県公社 般市民ら122人が参加し、講 や食育について考える「健望ましい食生活の在り方 門来福~落語で笑って健康に真。落語家の林家つる子さんは「質 基に分かりやすく解説した= いに包まれた。 ~」をテーマに講演し、 エントランスホールでは、群 会場は

保護者らが、ゲームや工作をしながら交学部で開かれた。同施設に通う子どもや同市昭和町の共愛学園前橋国際大短期大

の利用者を対象にした納涼祭が、

-ビス施設

「こどもサー

前橋市内の民間の放課後等デイ

放課後デイ施設 初の納涼祭

流した一写真。

(高木大喜)

の試食会などが行われた。 ヤクルト販売による「豆乳の力

だ。学生はボランティアとして子どもを

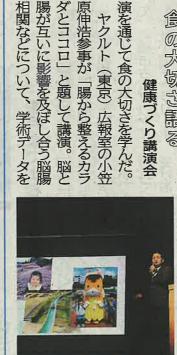
は園(同市江木町)に通所する子どもも 支えた。児童発達支援センターのたんぽ 当を届けるデリバリー

-体験などを楽しん

ヨーヨー釣り、会場内で注文を受けた弁

未就学児から高校生までが、輪投げや

食の大切さ語る



となったため、

市内のこどもサー

初めて合同の催しを開催した別権

演を通じて食の大切さを学んだ。

健康づくり講演会

やらし(木村房枝理事長)に猫用 は、NPO法人伊勢崎地域ねこじ クラブ(小谷野晃良会長) 崎市の伊勢崎南ロータリ 南ロータリー、砂など寄贈 地域貢献の一環で、伊勢 活動範囲をなずこうである。不 活動範囲を広げようと、25年1月 理事長は2019年から同市田部 猫活動」に取り組んでいる。木村 不在の猫との共生を目指す 同法人は、伊勢崎市内で飼い主など計15万円相当を寄贈した。 「地域

目録を手渡した。小谷野会長は「活目=が木村理事長=同3人目=にれ、小谷野会長=写真左から2人 の財政が厳しく、支援していただあいさつ。木村理事長は「NPO 動の手助けになればうれしい」 にNPO法人を立ち上げた。 き感激している」と話した。 市内の結婚式場で贈呈式が開か

(丸岡美貴)

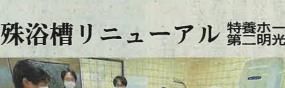
なところから環境への 意識を持っ なところから環境への 意識を持っ ま想いやり拾い隊」が協力した。 聞社が主催。毎年クリーンアップ てもらいたい」と話した。 シャルフェス」の一環で上毛新



## 特殊浴槽リニュ 特養ホーム第二明光園

トイレの砂、猫用キャリーケース

UNITE FOR GOOD



特別養護老人ホーム「第二明光

員が使用方法などの説明を受けた= た。設置作業が行われ、介護福祉士ら職の特殊浴槽を20年ぶりにリニューアルし 設長)は、利用者が入浴するため (前橋市樋越町、浅野春仁施

た。 長は「利用者は『気持ち良かった』と新 式で操作性が向上したという。浅野施設 老朽化していた。新浴槽はタッチパネル しい風呂を喜んでいた。故障の心配もな 北棟の浴槽は2004年に設置され、 職員の負担軽減につながる」と話し

た。の補助事業に採択され、 ースを統括する公益財団法人 浴槽のリニューアルは競輪とオー 補助金を活用 (前原久美代) J K A

期間とする「第7次市 エリアの観光振興、金 る」の評価はなかった

- 地方経済・生活環境 生交付金」の活用実 て意見が上がった。 登校支援、女性や若る

るタ策績創い

いめ首小山 親子、ゲームや工作楽しむ